

2015年(平成27年)2月28日(土曜日)

名古屋大短大部 東区の医療施設に

心肺蘇生講習に感謝状



県内の中学、高校、大学で心肺蘇生法の講習を開いている医療施設、名古屋ハートセンター（東区砂田橋一）に対し、六年間講習を受けてきた名古屋学芸大短期大学部（日進市）が二十七日、感謝状を贈った。

名古屋学芸大の井形昭弘学長と井形優子さんから感謝状を受け取った外山淳治さんと浅井優子さんの名古屋ハートセンターで

ハートセンターが講習で教えるのは、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を使う前に、人工呼吸をする手順を省き、素早く心臓マッサージをする「ハンズオンリー心肺蘇生法」と呼ばれる手法。これにより後遺症の残らない社会復帰の割合が高まるとされる。

二〇〇九年度からボランティアで講習を開き、本年度は二十四校の計二千五百人が受講した。三千体の人形とＡＥＤを用意して、学生や生徒たちはこの蘇生法を体験してもらっている。

ハートセンターを訪れた名古屋学芸大の井形昭弘学長（左）が、セタ。形昭弘学長（左）が、セタ。

（安福昌一郎）